

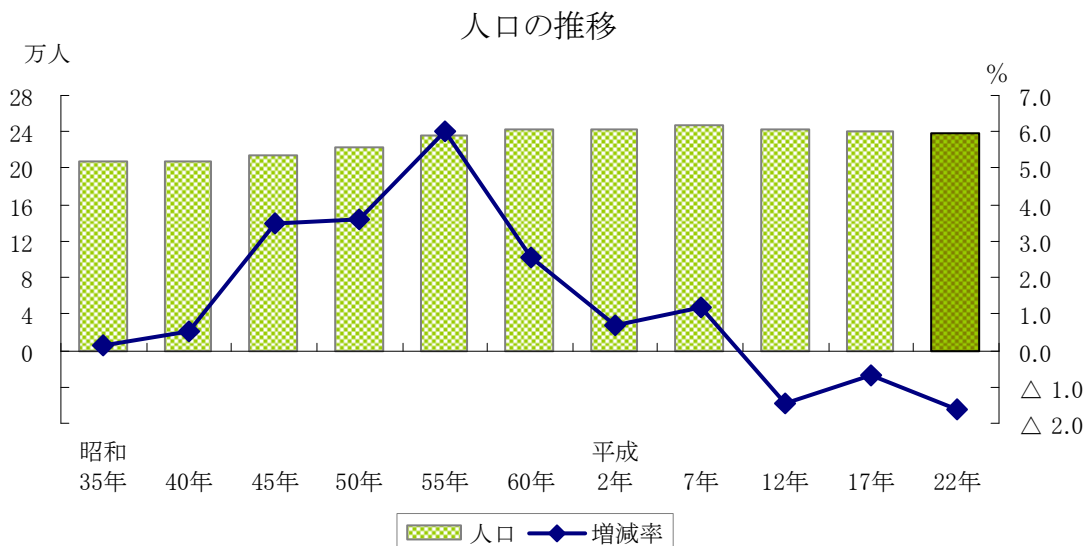
解 説

人口等基本集計結果

佐賀市の人口は 237,506 人（前回調査時から 3,855 人減少、増減率△1.6%）

平成 22 年国勢調査による 10 月 1 日現在の佐賀市の人口は 237,506 人となり、前回調査時（平成 17 年）の人口 241,361 人に比べ 3,855 人の減少となった。そのうち、一般世帯人員は 229,997 人で前回の 233,116 人に比べ 3,119 人減少した。

5 年ごとの人口増減率をみると、昭和 55 年以降はほぼ低下しており、平成 17～22 年の増減率は△1.6%となった。



人口および人口密度の推移

年 次	人口(人)	5年前の人口に対する増減		面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
		増減数(人)	割合(%)		
昭 和 35 年	206,639	343	0.2	422.98	489
昭 和 40 年	207,774	1,135	0.5	424.98	489
昭 和 45 年	215,000	7,226	3.5	427.44	503
昭 和 50 年	222,687	7,687	3.6	431.79	516
昭 和 55 年	236,029	13,342	6.0	431.79	547
昭 和 60 年	242,072	6,043	2.6	431.79	561
平 成 2 年	243,726	1,654	0.7	431.43	565
平 成 7 年	246,674	2,948	1.2	431.42	572
平 成 12 年	243,076	△ 3,598	△ 1.5	431.42	563
平 成 17 年	241,361	△ 1,715	△ 0.7	431.42	559
平 成 22 年	237,506	△ 3,855	△ 1.6	431.42	551

自然増減数, 社会増減数共にマイナスが続く

前回調査時から平成 22 年までの 5 年間に於ける自然増減数(出生－死亡)および社会増減数(転入－転出)については、共に毎年減少しており、人口の逓減傾向が続いている。

年次別人口の推移

年次	人口(人)	男(人)	女(人)	人口増減数対前年(人)	人口増減率対前年(%)	自然増減数(人)	社会増減数(人)
平成17年	241,361	114,390	126,971	△ 16	△ 0.0	28	△ 527
平成18年	240,727	114,096	126,631	△ 634	△ 0.3	△ 51	△ 583
平成19年	240,025	113,750	126,275	△ 702	△ 0.3	△ 21	△ 681
平成20年	238,891	112,972	125,919	△ 1,134	△ 0.5	△ 162	△ 972
平成21年	238,210	112,483	125,727	△ 681	△ 0.3	△ 180	△ 501
平成22年	237,506	112,173	125,333	△ 704	△ 0.3	△ 221	△ 125

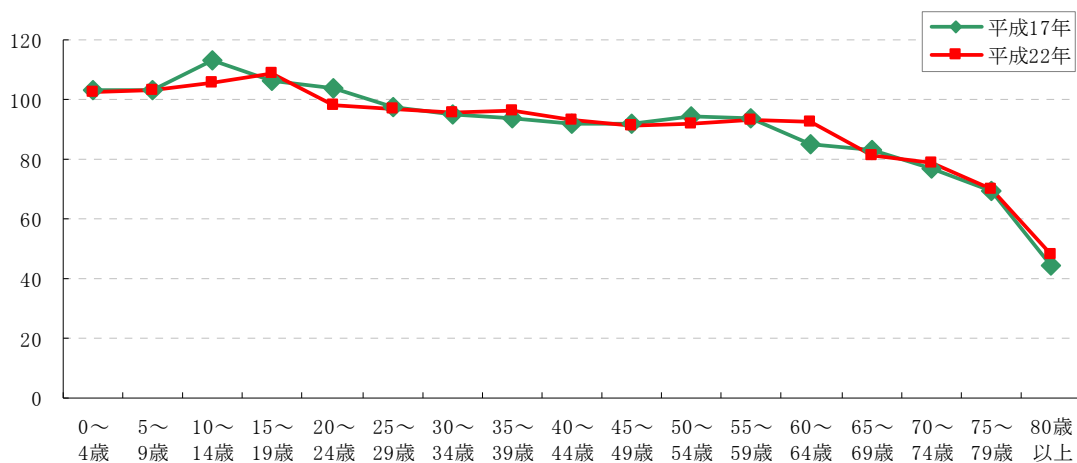
注1) 平成17年, 平成22年は国勢調査, その他の年は推計人口による。

注2) 各年次の自然増減数及び社会増減数は, 前年10月1日から当年9月末日までの数値。

女性 100 人に対し男性は 89.5 人

市の人口 237,506 人を男女別にみると男性が 112,173 人, 女性が 125,333 人で女性が 13,160 人多くなっており, 性比(女性 100 人当たりの男性の数)は, 89.5 である。この性比を年齢別にみると, 若年層では 100 を超えているが, 年齢が高くなるに従い低下する傾向がみられる。

年齢(5歳階級)別人口性比(女性100人に対する男性の数)



年齢(5歳階級)別人口性比の推移

年 齢 別	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
総 数	88.4	88.9	90.6	90.4	90.1	90.5	90.3	90.1	89.5
0～4歳	108.0	106.2	107.5	103.5	104.5	108.7	102.0	102.8	102.6
5～9歳	103.7	106.8	107.0	107.4	103.5	103.5	108.6	103.3	103.2
10～14歳	102.1	105.5	106.2	106.5	110.3	106.5	108.1	113.2	105.8
15～19歳	90.9	89.7	94.9	95.9	100.7	105.3	107.3	106.5	108.9
20～24歳	74.8	78.0	86.8	90.2	92.7	99.8	100.8	103.9	97.9
25～29歳	80.3	86.6	91.1	88.7	86.6	90.2	95.9	97.5	97.2
30～34歳	88.8	87.4	95.5	96.1	92.9	91.4	92.9	95.1	95.7
35～39歳	90.0	90.1	88.2	96.5	96.1	93.4	92.1	93.9	96.3
40～44歳	93.3	91.4	90.8	88.1	95.1	96.5	94.4	92.0	93.4
45～49歳	82.3	93.0	90.4	89.6	87.5	96.5	95.1	92.1	91.2
50～54歳	76.3	81.4	92.3	89.5	88.8	87.4	95.2	94.4	91.7
55～59歳	79.8	76.2	79.9	90.1	87.6	88.2	86.1	93.8	93.4
60～64歳	83.3	75.5	73.9	78.0	87.8	85.1	85.7	84.8	92.4
65～69歳	85.8	78.3	72.4	70.0	74.8	81.7	81.4	83.4	81.4
70～74歳	78.7	77.7	72.7	67.8	64.7	69.8	77.1	77.0	78.9
75～79歳	73.2	69.9	68.8	65.0	59.9	58.0	63.7	69.4	69.8
80歳以上	54.0	57.5	55.6	53.6	50.4	45.5	42.1	44.5	48.3

上昇している離別率

市の15歳以上人口のうち男性は93,834人、女性108,114人である。うち有配偶者は、男性56,991人、女性56,953人でそれぞれ60.7%、52.7%となっている。また、未婚者は、男性29,292人、女性26,295人でそれぞれ31.2%、24.3%となり、前回と比べて有配偶者および未婚者の割合は、男女とも減少している。

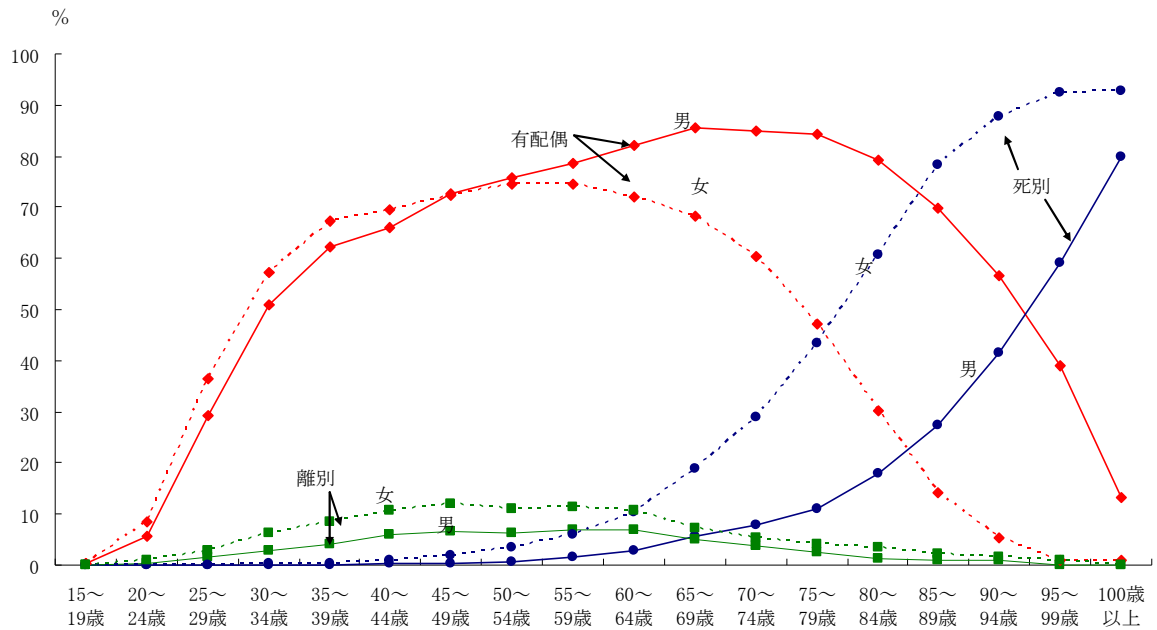
つぎに、夫又は妻と死別した者の数は、男性が3,082人(3.3%)、女性16,553人(15.3%)で女性が圧倒的に多い。離別者は男性が3,787人(4.0%)、女性7,375人(6.8%)で女性が多く、死別者及び離別者の割合は男女とも増加している。

配偶関係別割合の推移

年 次	男(%)					女(%)				
	15歳以上人口 ¹⁾	未婚	有配偶	死別	離別	15歳以上人口 ¹⁾	未婚	有配偶	死別	離別
昭和55年	100.0	27.2	69.2	2.5	1.0	100.0	23.3	59.9	14.1	2.6
昭和60年	100.0	27.7	68.4	2.5	1.4	100.0	23.2	59.2	14.2	3.3
平成2年	100.0	29.2	66.4	2.5	1.7	100.0	24.2	57.6	14.3	3.7
平成7年	100.0	31.1	64.0	2.7	2.1	100.0	25.1	55.9	14.8	4.1
平成12年	100.0	31.2	62.9	2.8	2.7	100.0	24.8	54.9	14.9	5.0
平成17年	100.0	31.5	61.3	3.1	3.5	100.0	24.7	53.7	15.2	6.0
平成22年	100.0	31.2	60.7	3.3	4.0	100.0	24.3	52.7	15.3	6.8

1) 配偶関係「不詳」を含む。

男女、年齢(5歳階級)別有配偶・死別・離別率



子ども1人に対し高齢者が約1.6人

市の人口 237,506 人を年少人口(0～14 歳), 生産年齢人口(15～64 歳), 老年人口(65 歳以上)に3 区分すると, 年少人口 33,762 人, 生産年齢人口 147,400 人, 老年人口 54,548 人である。

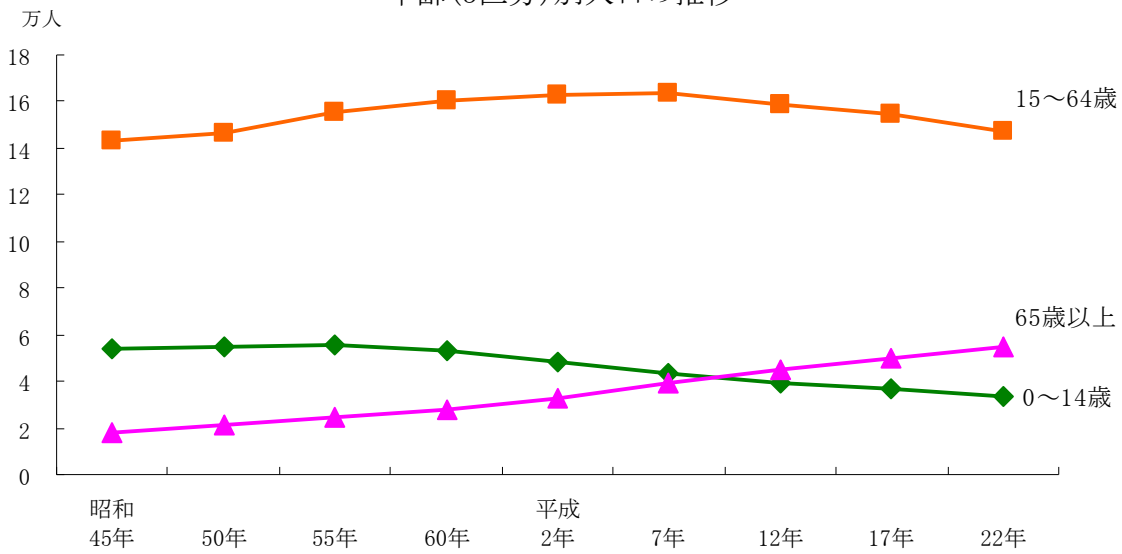
年少人口1 人に対する老年人口は, 平成12 年は約1.2 人であったのに対し, 平成22 年では約1.6 人と少子高齢化が進んでいる。

年齢(3区分)別人口の推移

項目		昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
人口 (人)	総数 1)	215,000	222,687	236,029	242,072	243,726	246,674	243,076	241,361	237,506
	0～14歳	54,301	54,854	55,390	53,344	48,163	43,552	39,212	36,502	33,762
	15～64歳	142,989	146,711	155,844	160,763	162,588	163,868	158,464	154,596	147,400
	65歳以上	17,710	21,116	24,780	27,957	32,786	39,250	45,317	50,175	54,548
割合 (%)	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	0～14歳	25.3	24.6	23.5	22.0	19.8	17.7	16.1	15.1	14.3
	15～64歳	66.5	65.9	66.0	66.4	66.7	66.4	65.2	64.1	62.5
	65歳以上	8.2	9.5	10.5	11.5	13.5	15.9	18.6	20.8	23.1
年齢 構造 指数	年少人口指数	38.0	37.4	35.5	33.2	29.6	26.6	24.7	23.6	22.9
	老年人口指数	12.4	14.4	15.9	17.4	20.2	24.0	28.6	32.5	37.0
	従属人口指数	50.4	51.8	51.4	50.6	49.8	50.5	53.3	56.1	59.9
	老年化指数	32.6	38.5	44.7	52.4	68.1	90.1	115.6	137.5	161.6

1) 年齢「不詳」を含む。

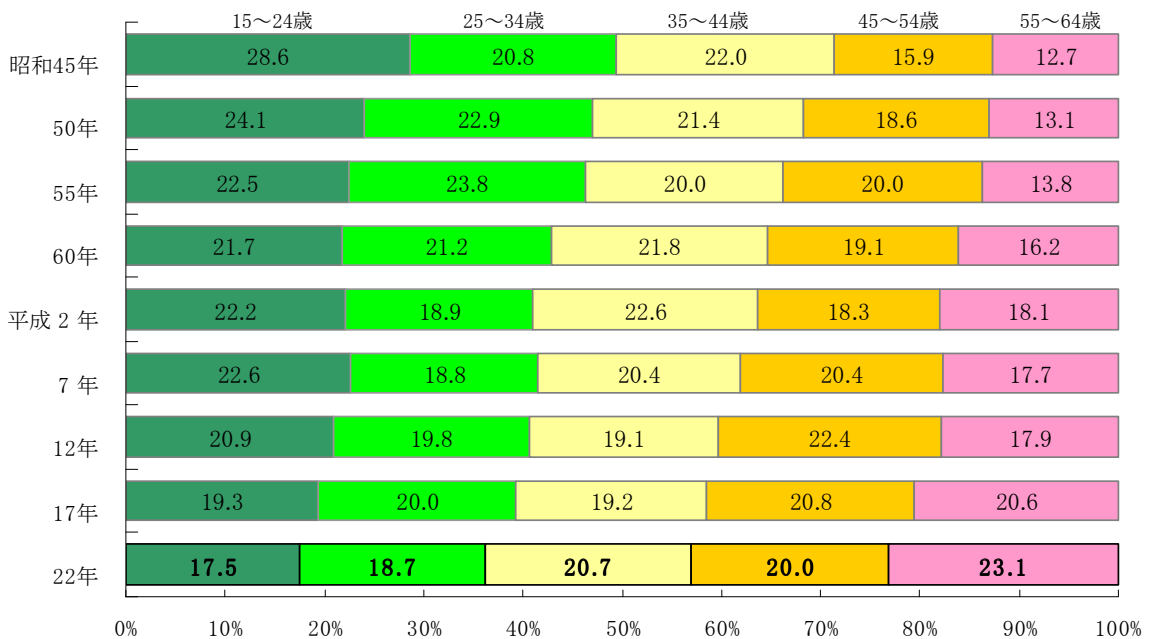
年齢(3区分)別人口の推移



生産年齢人口の高齢化が進む

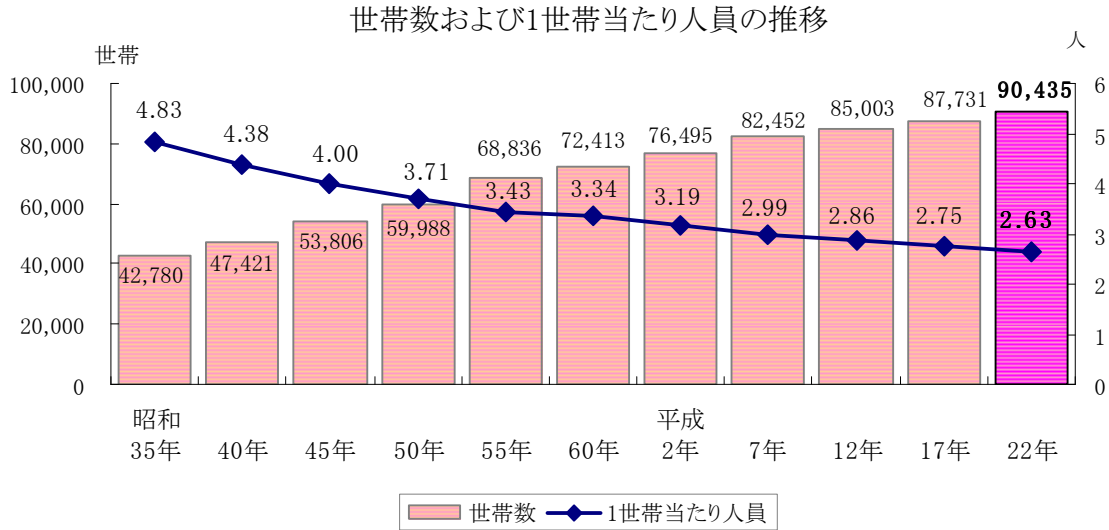
生産年齢人口を10歳きざみに5段階に区分してみると、平成2年から20年間に15~24歳が4.7ポイント、25~34歳0.1ポイント、35~44歳1.9ポイント減少し、45~54歳1.6ポイント、55~64歳が5.1ポイント増加し、若い世代の割合が減少し、中高年の世代の割合が増加している。

年齢(5区分)別生産年齢人口割合の推移



世帯数は 90,435 世帯(前回調査時から 2,704 世帯増加)

市の世帯数は 90,435 世帯となり、前回調査時と比べ 2,704 世帯(3.1%)の増加となっている。1 世帯当たり人員は 2.63 人となり、昭和 35 年調査以降減少が続いている。



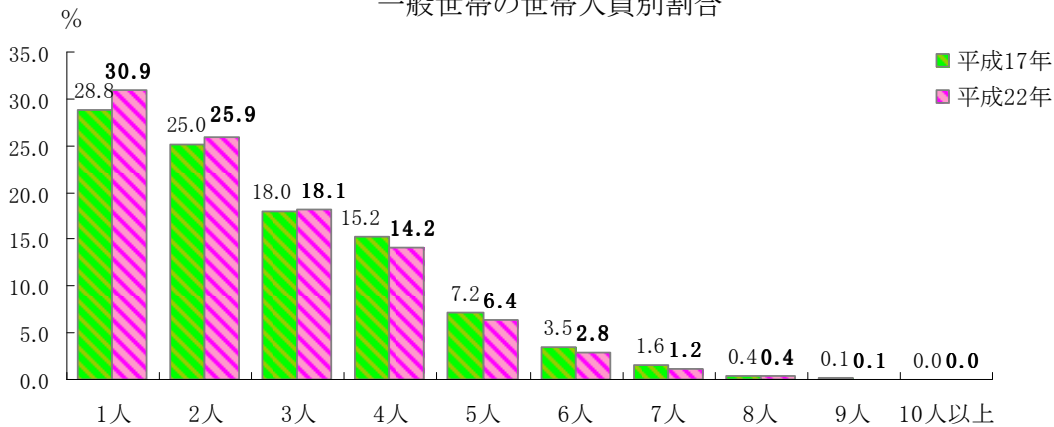
1人世帯, 2人世帯, 3人世帯が増え続ける

世帯数のうち、一般世帯は 90,154 世帯で前回と比べて 2,709 世帯(3.2%)の増加となっている。一般世帯を世帯人員別にみると、1人世帯が 27,848 世帯(30.9%)と最も多い。3人までの世帯は増加し、4人以上の世帯は減少している。

世帯人員別一般世帯数の推移

世帯人員	一般世帯数			構成比(%)			増減率(%)	
	平成12年	平成17年	平成22年	平成12年	平成17年	平成22年	17年/12年	22年/17年
総数	84,727	87,445	90,154	100.0	100.0	100.0	3.2	3.1
1人	22,910	25,188	27,848	27.0	28.8	30.9	9.9	10.6
2人	20,154	21,899	23,341	23.8	25.0	25.9	8.7	6.6
3人	15,311	15,756	16,341	18.1	18.0	18.1	2.9	3.7
4人	13,799	13,280	12,796	16.3	15.2	14.2	△ 3.8	△ 3.6
5人	6,734	6,281	5,752	7.9	7.2	6.4	△ 6.7	△ 8.4
6人	3,528	3,102	2,566	4.2	3.5	2.8	△ 12.1	△ 17.3
7人	1,739	1,430	1,105	2.1	1.6	1.2	△ 17.8	△ 22.7
8人	423	387	325	0.5	0.4	0.4	△ 8.5	△ 16.0
9人	98	88	50	0.1	0.1	0.1	△ 10.2	△ 43.2
10人以上	31	34	30	0.0	0.0	0.0	9.7	△ 11.8

一般世帯の世帯人員別割合



「単独世帯」は増加, 「夫婦と子供から成る世帯」は減少

一般世帯を家族類型別にみると, 単独世帯が 27,848 世帯(一般世帯の 30.9%), 「夫婦と子供」世帯が 24,303 世帯(27.0%)とこの二つで一般世帯数の過半数を占めている。

単独世帯は前回調査時に続き最も多い家族類型となった。

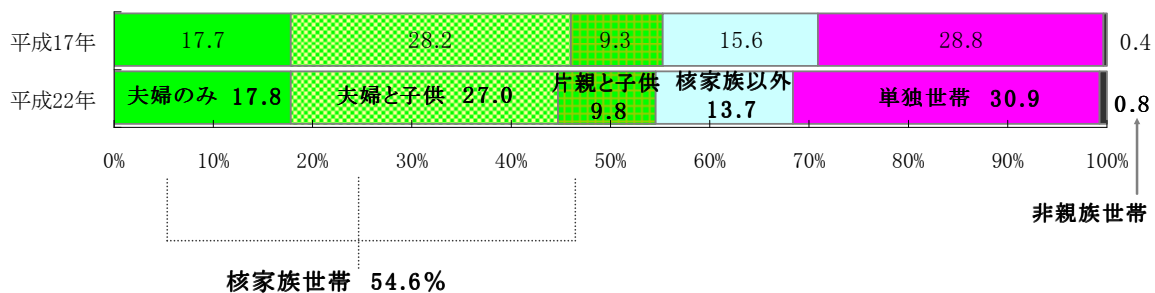
世帯の家族類型別一般世帯数

世帯の家族類型	一般世帯数		構成比(%)		前回比	
	平成17年	平成22年	平成17年	平成22年	増減数	増減率(%)
総数	87,445	90,154	100.0	100.0	2,709	3.1
親族世帯 1)	61,935	61,579	70.8	68.3	△ 356	△ 0.6
核家族世帯	48,308	49,195	55.2	54.6	887	1.8
夫婦のみ	15,518	16,072	17.7	17.8	554	3.6
夫婦と子供	24,685	24,303	28.2	27.0	△ 382	△ 1.5
男親と子供	1,051	1,106	1.2	1.2	55	5.2
女親と子供	7,054	7,714	8.1	8.6	660	9.4
核家族世帯以外の世帯	13,627	12,384	15.6	13.7	△ 1,243	△ 9.1
非親族世帯 2)	322	700	0.4	0.8	378	117.4
単独世帯	25,188	27,848	28.8	30.9	2,660	10.6

1) 平成17年は親族・非親族が同居する世帯を含む。

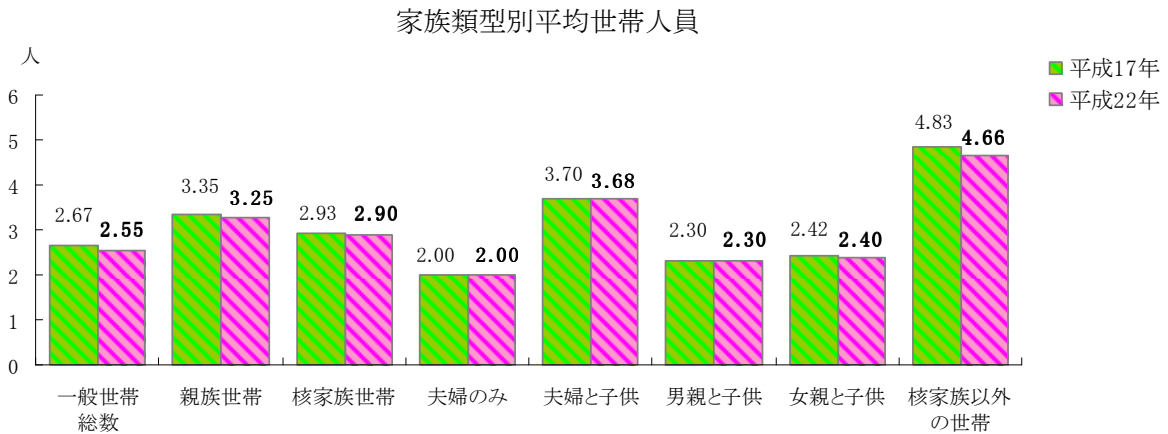
2) 平成22年は親族・非親族が同居する世帯を含む。

一般世帯の家族類型別割合



親族世帯の平均世帯人員は 3.25 人

親族世帯の 1 世帯当たりの家族類型別平均世帯人員は 3.25 人で、前回調査時の 3.35 人から 0.1 人減少している。これを家族類型別にみると核家族世帯では 2.93 人から 2.90 人、核家族以外の世帯は 4.83 人から 4.66 人に減少している。



高齢者(65歳以上世帯員)のいる世帯は 35,497 世帯で、一般世帯の 39.4%

世帯員の年齢によって一般世帯を区分してみると、65歳以上世帯員のいる世帯は35,497世帯、18歳未満世帯員のいる世帯は22,945世帯となっている。これを世帯の家族類型別にみると、18歳未満世帯員のいる世帯のうち、女親と子供からなる世帯は2,354世帯、65歳以上世帯員のいる世帯のうち、夫婦のみの世帯は8,877世帯、単独世帯は7,903世帯となっている。

6歳未満、18歳未満及び65歳以上世帯員のいる一般世帯

世帯の家族類型	一般世帯数	一般世帯人員	6歳未満世帯員のいる一般世帯			18歳未満世帯員のいる一般世帯			65歳以上世帯員のいる一般世帯		
			世帯数	世帯数に占める割合(%)	6歳未満世帯員人員	世帯数	世帯数に占める割合(%)	18歳未満世帯員人員	世帯数	世帯数に占める割合(%)	65歳以上世帯員人員
総数	90,154	229,997	9,251	10.3	12,422	22,945	25.5	40,818	35,497	39.4	50,471
親族のみの世帯	61,579	200,264	9,217	15.0	12,382	22,807	37.0	40,633	27,401	44.5	42,275
核家族世帯	49,195	142,565	7,089	14.4	9,497	16,632	33.8	29,482	16,977	34.5	27,337
夫婦のみの世帯	16,072	32,144	-	-	-	2	0.0	2	8,877	55.2	15,969
夫婦と子供から成る世帯	24,303	89,393	6,629	27.3	8,960	14,111	58.1	25,437	4,325	17.8	7,433
男親と子供から成る世帯	1,106	2,546	15	1.4	17	165	14.9	254	641	58.0	649
女親と子供から成る世帯	7,714	18,482	445	5.8	520	2,354	30.5	3,789	3,134	40.6	3,286
核家族世帯以外の世帯	12,384	57,699	2,128	17.2	2,885	6,175	49.9	11,151	10,424	84.2	14,938
非親族を含む世帯	700	1,820	34	4.9	40	79	11.3	126	193	27.6	293
単独世帯	27,848	27,848	-	-	-	59	0.2	59	7,903	28.4	7,903

「一人暮らし 65 歳以上人口」(65 歳以上の単独世帯数)は 7,903 人(世帯)

市の 65 歳以上人口のうち、単独世帯で暮らす人(一人暮らし 65 歳以上人口)は 7,903 人で、65 歳以上人口に占める割合は 14.5%となり、全国平均の 16.4%を 1.9 ポイント下回っている。

男女別にみると、男性が 1,795 人、女性が 6,108 人で女性が男性の 3 倍以上となっている。「一人暮らし 65 歳以上人口」の男女別 65 歳以上人口に占める割合は、男性が 8.2%、女性が 18.7%となっており、女性が男性を 10.5 ポイント上回っている。

また、「施設等の世帯」で暮らす人は 4,077 人となり、65 歳以上人口に占める割合は 7.5%となっている。

世帯の種類, 男女別65歳以上人口

世帯区分・男女別		平成22年				平成17年			
		市 全 域		うち人口集中地区		市 全 域		うち人口集中地区	
		人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
65歳以上人口	総数	54,548	100.0	27,558	100.0	50,175	100.0	24,604	100.0
	男	21,855	100.0	11,132	100.0	20,100	100.0	9,885	100.0
	女	32,693	100.0	16,426	100.0	30,075	100.0	14,719	100.0
単独世帯	総数	7,903	14.5	5,286	19.2	6,736	13.4	4,492	18.3
	男	1,795	8.2	1,162	10.4	1,426	7.1	929	9.4
	女	6,108	18.7	4,124	25.1	5,310	17.7	3,563	24.2
施設等の世帯 1)	総数	4,077	7.5	1,092	4.0
	男	1,038	4.7	315	2.8
	女	3,039	9.3	777	4.7

1)平成17年は市町村結果非公表

「持ち家」の割合は 58.8%

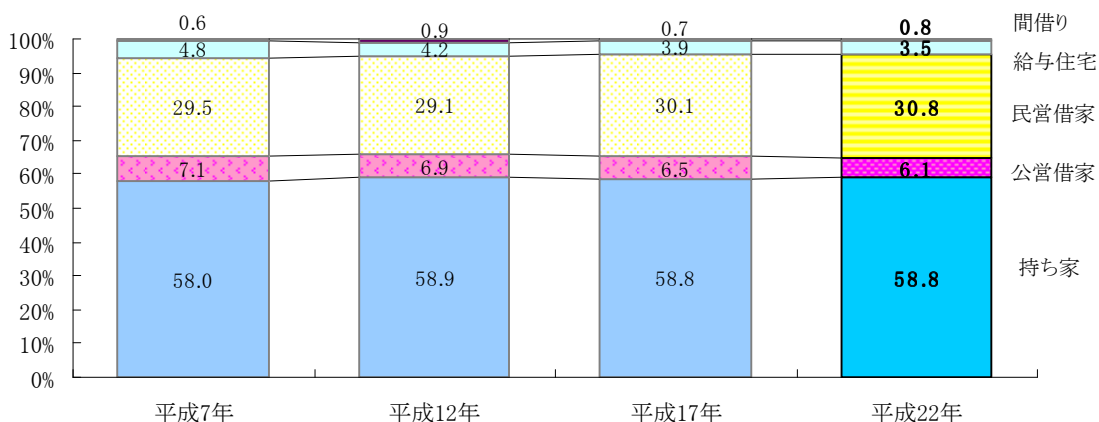
住宅に住む一般世帯数 89,141 世帯を住宅の所有の関係別にみると、持ち家が 52,459 世帯(住宅に住む一般世帯数の 58.8%)で最も多く、次いで民営の借家 27,430 世帯(30.8%)となっている。

また、住宅に住む一般世帯数を平成 17 年と比較してみると、増加率が最も高いのが民営の借家で 1,415 世帯増の 5.4%、持ち家が 1,707 世帯増の 3.4%となっている。

住居の種類, 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数

住居の種類・ 住宅の所有の関係	世帯数				割合(%)				増減率(%)		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成7年 ~12年	平成12年 ~17年	平成17年 ~22年
住宅に住む一般世帯	80,935	83,448	86,380	89,141	100.0	100.0	100.0	100.0	3.1	3.5	3.2
持ち家	46,982	49,134	50,752	52,459	58.0	58.9	58.8	58.8	4.6	3.3	3.4
公営・都市再生機構・ 公社の借家	5,716	5,736	5,652	5,410	7.1	6.9	6.5	6.1	0.3	△ 1.5	△ 4.3
民営の借家	23,859	24,315	26,015	27,430	29.5	29.1	30.1	30.8	1.9	7.0	5.4
給与住宅	3,862	3,512	3,356	3,157	4.8	4.2	3.9	3.5	△ 9.1	△ 4.4	△ 5.9
間借り	516	751	605	685	0.6	0.9	0.7	0.8	45.5	△ 19.4	13.2

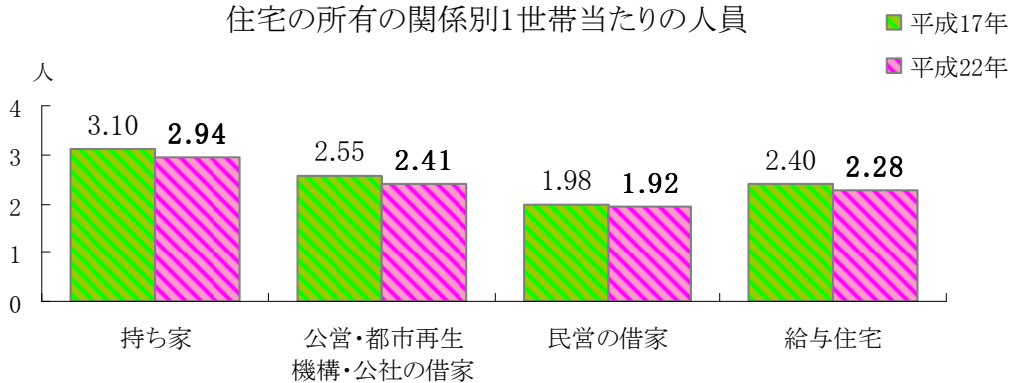
住宅の所有の関係別一般世帯の割合



「持ち家」の1世帯当たり人員は2.94人

1世帯当たり人員を住宅の所有の関係別にみると、最も多いのが持ち家の2.94人、次いで公営・都市再生機構・公社の借家の2.41人となっている。人口の減少と世帯数の増加により1世帯当たりの人員はいずれも減少している。

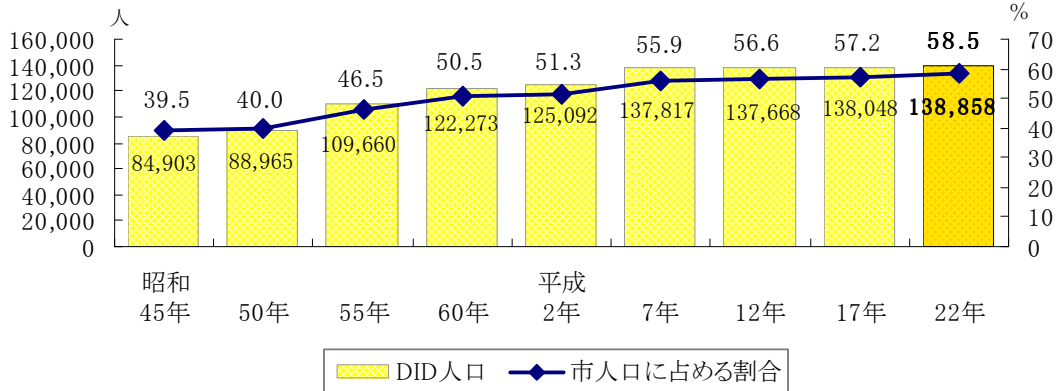
住宅の所有の関係別1世帯当たりの人員



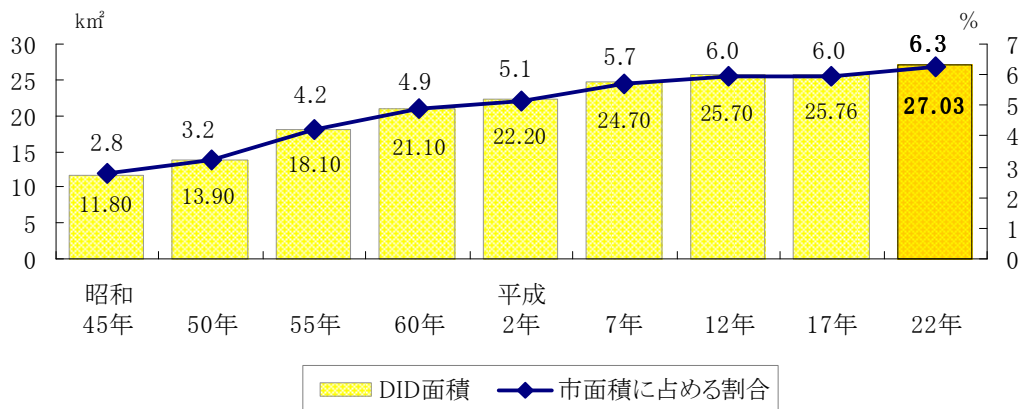
人口集中地区(DID)人口の割合は市人口の58.5%

平成22年の佐賀市の人口集中地区(DID)は、旧佐賀市と大和町に設定されている(P110 地図)。人口は138,858人(市人口の58.5%)、面積は27.03km²(市全域の6.3%)となっている。市人口は減少傾向であるのに対し、DID人口、面積は微増傾向にある。

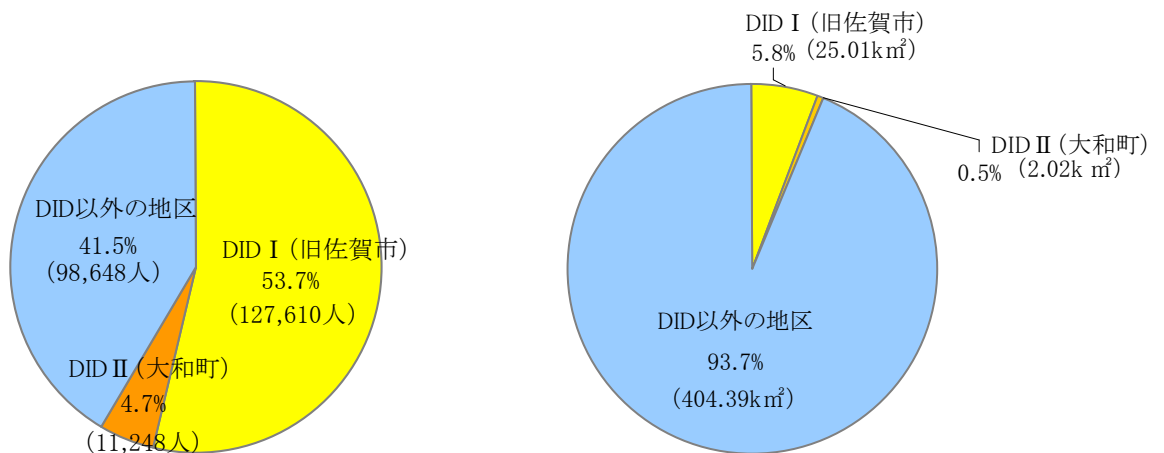
人口集中地区(DID)の人口の推移



人口集中地区(DID)の面積の推移



平成22年人口集中地区(DID)の人口(左)及び面積(右)の割合



富士町、三瀬村の人口減少率が高い

前回調査時からの人口の推移を旧市町村ごとにみると、東与賀町と久保田町がそれぞれ420人、4人増加している。一方、他の地域では減少しており、旧佐賀市△2,322人、川副町△651人などとなっている。

また、減少率は富士町△8.69%が最も高く、次いで三瀬村△6.54%などとなっている。

旧市町村別人口の推移

	人口(人)			人口増減数(人)		人口増減率(%)	
	平成22年	平成17年	平成12年	17年/22年	12年/17年	17年/22年	12年/17年
佐賀市	237,506	241,361	243,076	△ 3,855	△ 1,715	△ 1.60	△ 0.71
旧佐賀市	164,423	166,745	167,955	△ 2,322	△ 1,210	△ 1.39	△ 0.73
諸富町	11,238	11,806	12,086	△ 568	△ 280	△ 4.81	△ 2.37
大和町	21,891	22,114	21,956	△ 223	158	△ 1.01	0.71
富士町	4,359	4,774	5,116	△ 415	△ 342	△ 8.69	△ 7.16
三瀬村	1,428	1,528	1,670	△ 100	△ 142	△ 6.54	△ 9.29
川副町	17,599	18,250	19,037	△ 651	△ 787	△ 3.57	△ 4.31
東与賀町	8,350	7,930	7,255	420	675	5.30	8.51
久保田町	8,218	8,214	8,001	4	213	0.05	2.59

旧市町村別の人口密度は、旧佐賀市と諸富町が高い

市の人口密度は550.5人で、人口の減少に伴い人口密度も低下している。

旧市町村別に人口密度をみると、旧佐賀市1584.6人が最も高く、次いで諸富町934.9人、久保田町571.1人などとなっている。

旧市町村別面積及び人口密度

	面積(k㎡)			人口密度(1k㎡当たり)(人)		
	平成22年	平成17年	平成12年	平成22年	平成17年	平成12年
佐賀市	431.42	431.42	431.42	550.5	559.5	563.4
旧佐賀市	103.76	103.76	103.76	1,584.6	1,607.0	1,618.7
諸富町	12.02	12.02	12.02	934.9	982.2	1,005.5
大和町	55.42	55.42	55.42	395.0	399.0	396.2
富士町	143.25	143.25	143.25	30.4	33.3	35.7
三瀬村	40.70	40.70	40.70	35.1	37.5	41.0
川副町	46.49	46.49	46.49	378.6	392.6	409.5
東与賀町	15.39	15.39	15.39	542.6	515.3	471.4
久保田町	14.39	14.39	14.39	571.1	570.8	556.0

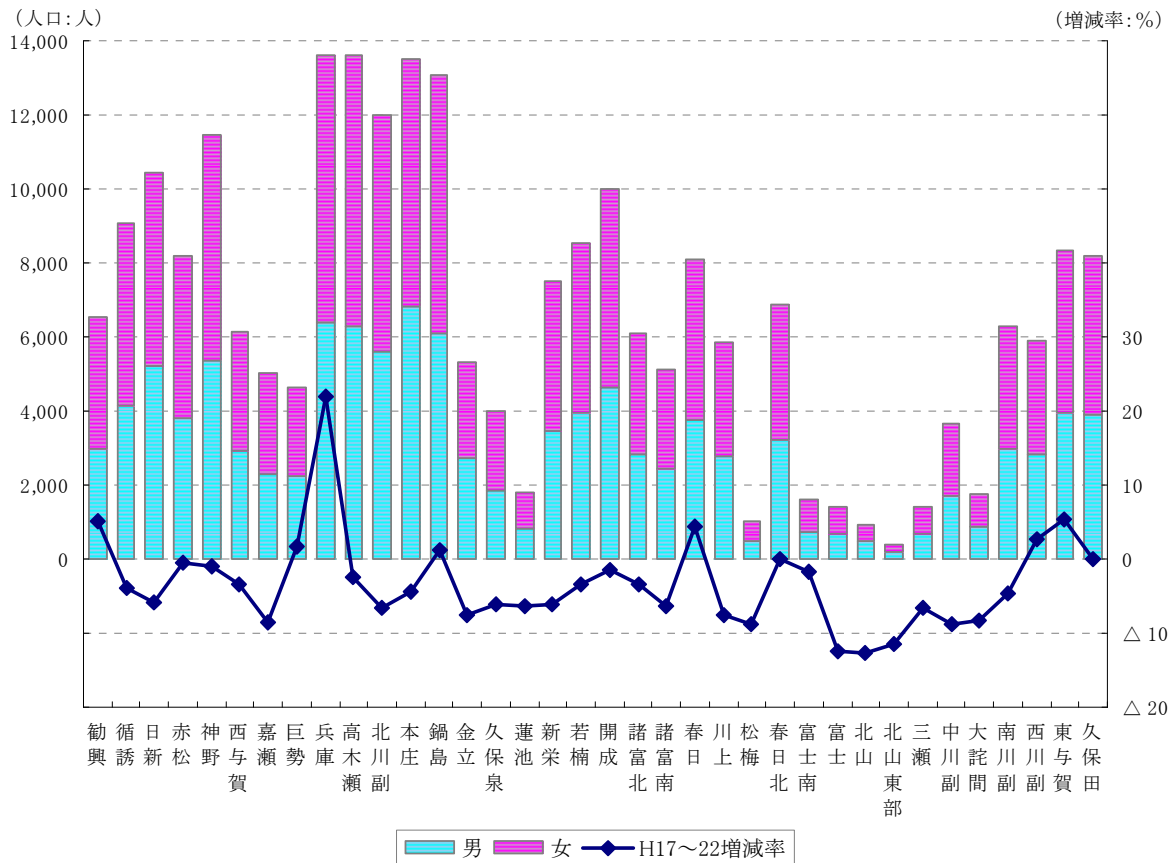
小学校区別人口は高木瀬校区 13,622 人が最も多い
 人口増加数は兵庫校区 2,457 人が最も多い

市の人口を小学校区別にみると、高木瀬が 13,622 人と最も多く、次いで兵庫が 13,599 人などとなっている。人口の多い校区のうち兵庫、鍋島では前回調査時と比べ人口が増加し、高木瀬、本庄、北川副では減少している。

一方、人口 1,500 人以下の校区では人口はいずれも減少しており、減少率も高い。特に北山、富士、北山東部の減少率は 10%を超えている。

旧佐賀市では北川副、本庄のほか日新、新栄の人口減少数が多く、旧佐賀市南部地域の校区で人口減少数が多い傾向がある。

小学校区別人口



人口の多い小学校区及び少ない小学校区

	人口が多い				人口が少ない			
	校区名	総数(人)	男(人)	女(人)	校区名	総数(人)	男(人)	女(人)
1	高木瀬	13,622	6,303	7,319	北山東部	397	191	206
2	兵庫	13,599	6,394	7,205	北山	939	464	475
3	本庄	13,525	6,831	6,694	松梅	1,035	507	528
4	鍋島	13,052	6,123	7,000	富士	1,414	665	749
5	北川副	11,984	5,589	6,395	三瀬	1,428	678	750

人口増加率が高い小学校区及び減少率が高い小学校区

	増加率が高い				減少率が高い			
	校区名	平成22年人口(人)	平成17年人口(人)	増減率(%)	校区名	平成22年人口(人)	平成17年人口(人)	増減率(%)
1	兵庫	13,599	11,142	22.05	北山	939	1,076	△ 12.73
2	東与賀	8,350	7,930	5.30	富士	1,414	1,615	△ 12.45
3	勸興	6,548	6,231	5.09	北山東部	397	448	△ 11.38
4	春日	8,101	7,753	4.49	松梅	1,035	1,136	△ 8.89
5	西川副	5,919	5,760	2.76	中川副	3,646	3,999	△ 8.83

人口増加数が多い小学校区及び減少数が多い小学校区

	増加数が多い				減少数が多い			
	校区名	平成22年人口(人)	平成17年人口(人)	増減数(人)	校区名	平成22年人口(人)	平成17年人口(人)	増減数(人)
1	兵庫	13,599	11,142	2,457	北川副	11,984	12,815	△ 831
2	東与賀	8,350	7,930	420	日新	10,431	11,068	△ 637
3	春日	8,101	7,753	348	本庄	13,525	14,133	△ 608
4	勸興	6,548	6,231	317	新栄	7,494	7,977	△ 483
5	鍋島	13,052	12,882	170	川上	5,869	6,341	△ 472

年少人口が多い小学校区及び年少人口の割合が高い小学校区

	年少人口が多い				年少人口の割合が高い			
	校区名	平成22年人口(人)	平成17年人口(人)	増減数(人)	校区名	平成22年人口(人)	平成17年人口(人)	平成22年割合(%)
1	兵庫	2,558	2,234	324	兵庫	2,558	2,234	19.0
2	鍋島	2,364	2,639	△ 275	鍋島	2,364	2,639	18.3
3	高木瀬	1,967	2,088	△ 121	東与賀	1,470	1,359	17.6
4	北川副	1,672	1,933	△ 261	春日	1,399	1,372	17.3
5	神野	1,632	1,822	△ 190	開成	1,611	1,714	16.2

生産年齢人口が多い小学校区及び生産年齢人口の割合が高い小学校区

	生産年齢人口が多い				生産年齢人口の割合が高い			
	校区名	平成22年人口(人)	平成17年人口(人)	増減数(人)	校区名	平成22年人口(人)	平成17年人口(人)	平成22年割合(%)
1	本庄	9,105	9,947	△ 842	鍋島	9,013	8,924	69.6
2	鍋島	9,013	8,924	89	本庄	9,105	9,947	68.6
3	兵庫	8,724	7,088	1,636	新栄	4,961	5,419	66.4
4	高木瀬	8,224	8,906	△ 682	神野	7,375	7,636	65.4
5	神野	7,375	7,636	△ 261	日新	6,758	7,423	65.4

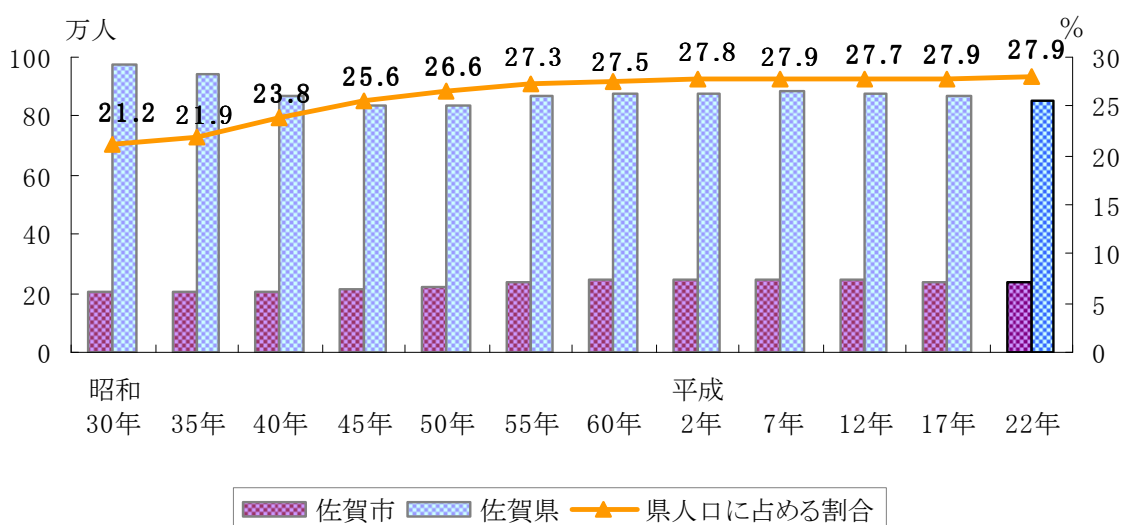
老年人口が多い小学校区及び老年人口の割合が高い小学校区

	老年人口が多い				老年人口の割合が高い			
	校区名	平成22年人口(人)	平成17年人口(人)	増減数(人)	校区名	平成22年人口(人)	平成17年人口(人)	平成22年割合(%)
1	高木瀬	3,387	2,953	434	北山東部	155	164	39.0
2	北川副	3,086	2,835	251	北山	361	379	38.4
3	本庄	2,574	2,415	159	富士南	596	570	37.0
4	循誘	2,474	2,351	123	富士	500	538	35.4
5	日新	2,394	2,348	46	嘉瀬	1,690	1,727	33.7

佐賀県の人口に占める佐賀市の人口の割合は 27.9%

佐賀県の人口は、849,788 人で前回調査時の 866,369 人に比べ、16,581 人(△1.91%)減少している。県人口に占める佐賀市の人口の割合(組み替え後)は、昭和 30 年以降、微増する傾向が続いており、平成 22 年は 27.9%を占めている。

佐賀県、佐賀市の人口及び県人口に占める佐賀市の人口の割合の推移



佐賀市を含む県内 17 市町で人口が減少

人口の増減を佐賀県の市町別にみると、人口が増加したのは鳥栖市、吉野ヶ里町、上峰町の 1 市 2 町で、佐賀市を含む他の 17 市町は減少となっている。

佐賀県内市町別人口

市 町	平成22年 人口(人)	平成17年 人口(人)	平成17年～22年の 人口増減数(人)	平成17年～22年の 人口増減率(%)
佐賀県	849,788	866,369	△ 16,581	△ 1.9
佐賀市	237,506	241,361	△ 3,855	△ 1.6
唐津市	126,926	131,116	△ 4,190	△ 3.2
鳥栖市	69,074	64,723	4,351	6.7
多久市	21,404	22,739	△ 1,335	△ 5.9
伊万里市	57,161	58,190	△ 1,029	△ 1.8
武雄市	50,699	51,497	△ 798	△ 1.5
鹿島市	30,720	32,117	△ 1,397	△ 4.3
小城市	45,133	45,852	△ 719	△ 1.6
嬉野市	28,984	30,392	△ 1,408	△ 4.6
神埼市	32,899	33,537	△ 638	△ 1.9

佐賀県内市町別人口(つづき)

市 町	平成22年 人口(人)	平成17年 人口(人)	平成17年～22年の 人口増減数(人)	平成17年～22年の 人口増減率(%)
吉野ヶ里町	16,405	16,100	305	1.9
基 山 町	17,837	18,889	△ 1,052	△ 5.6
上 峰 町	9,224	9,090	134	1.5
み や き 町	26,175	27,157	△ 982	△ 3.6
玄 海 町	6,379	6,738	△ 359	△ 5.3
有 田 町	20,929	21,570	△ 641	△ 3.0
大 町 町	7,369	7,956	△ 587	△ 7.4
江 北 町	9,515	9,628	△ 113	△ 1.2
白 石 町	25,607	27,057	△ 1,450	△ 5.4
太 良 町	9,842	10,660	△ 818	△ 7.7

佐賀市と長崎市以外の九州・沖縄県庁所在都市の人口は増加

人口の増減を九州・沖縄の県庁所在都市別にみると、佐賀市と長崎市は減少し、他の市は増加している。

県庁所在都市別人口 - 九州・沖縄

県 都 名	平成22年 人口(人)	平成17年 人口(人)	平成17年～22年の 人口増減数(人)	平成17年～22年の 人口増減率(%)
福 岡 市	1,463,743	1,401,279	62,464	4.5
佐 賀 市	237,506	241,361	△ 3,855	△ 1.6
長 崎 市	443,766	455,206	△ 11,440	△ 2.5
熊 本 市	734,474	727,978	6,496	0.9
大 分 市	474,094	462,317	11,777	2.5
宮 崎 市	400,583	395,593	4,990	1.3
鹿 児 島 市	605,846	604,367	1,479	0.2
那 覇 市	315,954	312,393	3,561	1.1